

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: パブリックリペラー
SDS 整理番号	: SPS-PR-001
供給者の会社名称	: 旭化成アドバンス株式会社
住 所	: 〒105-0004 東京都港区新橋六丁目17番21号
担当部門	: 環境資材事業部
電話番号	: 03-5404-5613
FAX 番号	: 03-5404-5615
推奨用途及び使用上の制限	: 本製品は、建築・土木用樹脂（業務用）である。 その用途以外へ使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	: 分類できない
健康有害性	
急性毒性（経口）	: 分類できない
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	: 分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	: 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 区分1A
生殖毒性	: 区分1A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
環境有害性	
水生環境有害性（急性）	: 分類できない
水生環境有害性（長期間）	: 分類できない

GHS ラベル要素

シンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報 : 発がんのおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ

注意書き

安全対策 : 使用前に取扱い説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置 : ばく露またはばく露の懸念がある場合、医師の診断／手当を受けること。

保管 : 冷暗所で施錠して保管すること。

廃棄 : 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

シリコーン乳化混合物（エマルジョン）として、以下を含有する

化学名又は一般名	含有量 (wt%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法、安衛法)	CAS No.
オルガノシラン、シリコーン	75-85	社外秘	登録済	非公開
水、その他	15-25	社外秘	登録済	非公開
エタノール	0.1-1.0	C ₂ H ₅ OH	2-202	64-17-5

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 多量の水および石鹸で優しく洗うこと。
汚染された衣類、靴などは速やかに脱ぐこと。
皮膚刺激が生じた場合および気分が悪いときは、医師の診断、手当を受けること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに、医師の診断、手当を受けること。

飲み込んだ場合 : 意識がある場合は、多量の水を少しずつ飲ませる。
直ちに、医師の診断、手当を受けること。

医師に対する特別注意事項 : 医師に暴露物質名を通知する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、一般の泡消火剤

使ってはならない消火剤	: 棒状注水は、火災を拡大させるおそれがある。
火災時の特有の危険有害性	: 燃焼ガスには、一酸化炭素、二酸化炭素等が含まれる。
特有の消火方法	: 初期の火災には、粉末消火剤、二酸化炭素、一般の泡消火剤を用いる。 大規模火災の場合には、散水、水噴霧または一般の泡消火剤を用いる。 危険でなければ、容器を火災区域から移動する。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際には、有害なガスを吸い込まないように自給式呼吸器等の保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業の際は、必ず保護具（保護眼鏡・保護マスク・保護衣・ゴム製保護手袋）を着用し、作業する。
保護具を着用していないときは、破損した容器あるいは漏出物に触れないこと。

環境に対する注意事項

: 漏出物が排水溝、下水溝、河川、海洋などに流出しないように注意する。

回収、中和

: 少量の場合、乾燥砂等の不燃性物質、おがくず、ウエス等で拭き取り密閉できる容器に回収する。
多量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し、密閉できる容器に回収する。乾燥砂等の不燃性物質、おがくず、ウエス等で拭き取り密閉できる容器に回収する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

: 危険でなければ、漏れを止める。

二次災害の防止策

: 付近の着火源を速やかに取り除き、着火した場合に備え消火器を準備する。
河川、下水、排水路等へ流出した場合、直ちに地方自治体の関係先に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体を洗浄できる設備を設置する。
製品取扱時には、漏れ、あふれ、飛散等が起きないようにし、みだりに蒸気等を発生させない。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
屋外での取扱時は、風上から作業する。
保護具を着用し、換気の良い場所で取り扱う。

局所排気・全体換気

: 屋内で使用する場合、全体換気または局所排気装置を設置し、蒸気・ミストの吸い込みを防止する。

注意事項

: 吸い込み及び眼、皮膚に触れないように、適切な保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

: 容器をみだりに転倒させ、衝撃を加え、または引きずる等の乱暴な取

接触回避	扱いをしないこと。
保管	：熱、火花、裸火、高温、酸・アルカリ性物質のものから遠ざけること。
技術的対策	：熱、火花、裸火、高温のものから遠ざけること。
混触禁止物質	：酸、アルカリ性物質と一緒に保管しない。
適切な保管条件	：直射日光を避け、通気の良い冷暗所（0℃以上）で、施錠して保管すること。
	付近に火気、熱源となるものを近づけないこと。
安全な容器包装材料	：製品の保管は確実に蓋をし、製品包装形態で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	：未設定
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	
日本産業衛生学会（2015年版）	：未設定
ACGIH（2015年版）	：未設定
設備対策	：密閉空間での使用時は、排気設備（局所排気装置）の設置。 安全シャワー、アイシャワーの設置。
保護具	
呼吸器の保護具	：防塵マスク、簡易防塵マスク、防毒マスク（有機ガス用）
手の保護具	：不浸透性保護手袋、
目の保護具	：保護眼鏡（側板付普通眼鏡型、ゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具	：長袖作業衣、保護前掛け及び保護長靴
衛生対策	：作業中は、飲食・喫煙をしないこと。 取扱い後は、よく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状态	：ペースト状
色	：白色
臭い	：微臭気あり
pH	：約5
融点・凝固点	：情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	：情報なし
引火点	：>70℃（JIS K2265-2：セタ密閉式）
発火点	：情報なし
燃焼または爆発限界	
下限	：情報なし
上限	：情報なし
蒸気圧	：情報なし

蒸気密度	: 情報なし
比重	: 約 0.9 g/cm ³ (25°C)
溶解度	
水	: 混和されるが、溶解はしない。
その他の溶媒	: 情報なし
n-オクタノール/水分配係数	: 情報なし
自然発火温度	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
臭いのしきい(閾)値	: 情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	: 情報なし
燃焼性(固体、ガス)	: 情報なし
粘度	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 密閉状態で、冷暗所では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の手扱いは、火災の危険性は極めて低い。 本製品の引火点は測定されないが、可燃性のオルガノシランを含有している。水と酸の存在下で、ゆっくりとエタノールを生成する。
避けるべき条件	: 高温状態及び直射日光条件下での保管。
混触危険物質	: 酸、アルカリ性物質
危険有害な分解生成物	: 熱分解や燃焼時に一酸化炭素、二酸化炭素等の有害性ガスや蒸気が発生する。約 150°C 以上で酸化分解により少量のホルムアルデヒドを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 類似製品で LD50 >2000mg/kg (ラット) の情報あり
急性毒性(経皮)	: 本製品として試験データなし
急性毒性(吸入: ガス)	: 該当せず
急性毒性(吸入: 蒸気)	: 本製品として試験データなし
急性毒性(吸入: 粉塵、ミスト)	: 類似製品で、LC50 > 5.2mg/L/4h (spray/dust) の情報あり。
皮膚腐食性/刺激性	: 本製品として試験データなし
目に対する重篤な損傷性/目刺激性	: 本製品として試験データなし
呼吸器感作性	: 本製品として試験データなし
皮膚感作性	: 本製品として試験データなし
生殖細胞変異原性	: 本製品として試験データなし
発がん性	: 本製品として試験データなし
生殖毒性	: 本製品として試験データなし
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 本製品として試験データなし
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 本製品として試験データなし

吸引性呼吸器有害性	: 本製品として試験データなし
その他	: 成分として含まれるエタノールはあらゆるばく露経路において良好かつ迅速に吸収される。エタノールは眼や粘膜を刺激したり、中枢神経系に支障をきたしたり、吐き気やめまいを起こすことがある。大量エタノールへの慢性ばく露は肝臓や中枢神経系の損傷をもたらすことがある。

1 2. 環境影響情報

生態毒性	
魚	: 情報なし
甲殻類	: 情報なし
藻類	: 情報なし
残留性／分解性	: シリコーン分の生分解性は低い。加水分解生成物のエタノールは生分解しやすい。
生体蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動性	: 情報なし
その他	: 情報なし

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
- 汚染容器及び包装 : 空容器類を廃棄する場合は、内容物を完全に除去してから廃棄すること。容器等を洗浄した溶剤等は、地面や排水溝等に流さないこと。
-

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
IMDG (国際海上危険物規則) コード	: ハザードクラス 該当なし Packing Group 該当なし
ICAO-TI (国際民間航空機関技術指針／IATA-DGR (国際航空運送協会危険物規則))	: ハザードクラス 該当なし Packing Group 該当なし
国連番号	: 該当なし
品名	: 該当なし
国連分類	: 該当なし
容器等級	: 該当なし
海洋汚染物質	: 該当なし
国内規制	
陸上輸送	: 該当なし
海上輸送	: 該当なし
緊急時応急措置指針番号	: 該当なし
